



かたくり

令和2年2月
58号

～福祉まつり～

来て見てはいよ！ 幸せ築く支え合いの山都町



30地区福祉会 福祉劇披露



地域のお宝展示コーナー



熱唱する福祉の母



サロンで作った手工芸品の販売

11月16日、蘇陽支所にて福祉まつりを開催いたしました。
オープニングの保育園の発表から山の来場者で埋め尽くされ約700名以上の方に来場頂きました。
30地区福祉会会長による福祉劇の披露では、5日間の夜間練習の成果を思う存分発揮され、地域の繋がりの大切さを笑いを交えて演じて頂きました。
また、昼食の時間帯には各種団体からの食バザーのおもてなしや山都町ボランティア連絡協議会の有志で結成されたチンドン屋が会場内を練り歩き会場全体を盛り上げました。
最後にお楽しみ抽選会（協賛団体より提供）を行い盛会のうちに終了いたしました。

会長挨拶



会長
梅田 穰



新年あけましておめでとうござい
ます。本年も町民の皆様と共に地域福祉
の推進に取り組んで参りますのでよう
しくお願いします。

昨年の11月16日に町との共催で、「来
て見てはいよ！幸せ築く支え合いの山
都町」をテーマとした福祉まつりを、各
団体のご協力のもと、多くの町民の皆
様のご参加をいただき盛大に開催する
ことができました。30地区福祉会長の
福祉劇を始め保育園児の発表、昔遊
びのワークショップなど、多彩なプログ
ラムの中で、子どもから高齢の方まで一
緒になって楽しめた催しでありました。
楽しく笑顔あふれる町民の皆様と一日を
通してふれ合い、一人ひとりそして、地
域と地域の支え合いの気持ちを持ち続
ける町を、皆様と共に築いていきたいと
心から思いました。

12月16日には、老人会蘇陽支部より一
円玉募金27万4千円を寄付いただきま
した。一日一円の思いやり活動を20数年
継続されておられ、その取り組みに感謝
し、地域福祉のために大切に活用させ
ていただきます。

最後に、皆様にとりまして、本年が素
晴らしい年となりますようご祈念申し
上げ、年頭の挨拶とします。

災害ボランティアセンター
サポーターフォローアップ講座

12月5日、平成27年から29年度に実施した災害
ボランティアセンターサポーター養成講座を修了
された方を対象に、講座を開催しました。

「災害発生時のゴミ出しについて」役場環境水
道課環境衛生係岩崎係長より説明があり、「災害へ
の備えについて」役場総務課防災係野口危機管理
監が講演をされました。最近の災害発生の状況や
早めの避難の必要性、日頃の備えについてお話を
頂きました。災害への備えと防災への意識をより
高める事ができた講座となりました。

最後に防災備蓄食の試食を行い参加者からは
「缶詰のパンケーキ意外と美味しかった」などの
声が聞かれました。



23名の
真剣なまなざし



防災備蓄食の試食

視察研修受け入れ

10月・11月に県内外4つの地区より視察に来られ、下
矢部西部、中島西部、白糸第一地区社協から地域での取
り組みについて紹介していただきました。日頃の活動を
通して、課題だけでなく今出来ている事を認め合い自分
たちの地域に誇りを持つことの大切さを共有したり、視
察受け入れを通して自分たちの
地域を見つめ直し、自信にも繋
がる良い機会となりました。



福岡県みやま市江浦校区地区社協の皆さん
下矢部西部地区社協にて



芦北町大野園域連絡会の皆さん
白糸第一地区社協にて
現地視察とおもてなし♡

視察研修へ行ってきました（下矢部西部地区社協）

下矢部西部地区社協役員等16名の方々が、上天草市に
視察研修に出掛けられました。地域での取り組みにつ
いて和気あいあい意見が交わされ、これからの地域づく
りにおいて、これまで地域を守って
きた世代とこれから知恵や伝統を
受け継ぎ担っていく世代、どちら
もなくしてはならない存在であり、
地域づくりは地域に住む全員が主
役であること再確認しました。

92歳の私でも
出来る事があるな～



中塚ハツ子さん



月一回の絆の会のメンバーと地区社協役員
上天草市の職員さんと

地域の様子

今年度も6月から8月にかけて、町内30地区において地区別福祉懇談会を実施しました。

福祉マップを活用し見守り活動の情報共有や、地域の支え合い活動についてワークショップなどを行いました。日頃の何気ない集まりが見守りや介護予防にもなっていること、地域でつながることの大切さを改めて感じる機会となりました。



二人で歩けばきつくない〜千滝の元気もん姉妹〜

毎朝、千滝地区を散歩する近藤サチ子さんと藤子さん、お二人は義理の姉妹。地区の健康教室をきっかけに、散歩を始められたとの事。どちらかが散歩をお休みすると、「今日は一人？」と近所の方にも見守られているお二人。「雨が降って散歩が出来ない日はつまらない」「話すこと、笑うことがいい」と、いつもの日課がお二人の元気の秘訣であるようです。



日頃から、お裾分けや病院の付き添いなどお互いに助け合っている2人



一人で散歩をしていると、徘徊に間違われた事もあるのだとか（笑）



芸者さんの登場で会場は大盛り上がり



手作りのしめ縄飾りができました



郷野原地区敬老会&サロン

12月1日、郷野原地区において敬老会が開催され、地区の皆さんで長寿者のお祝いをされました。毎年行われており、参加者の皆さんで工夫を凝らした余興を披露され、笑顔に包まれた楽しい時間を過ごされました。また、9月から毎月サロンで集まり、おしゃべりや手工芸を楽しまれています。



トーミを使って体験



昔ながらのブリコを使って脱穀



みさを大豆を使った湯豆腐

〜第5回みさを大豆収穫祭（東竹原地区）〜

12月1日東竹原地区において第5回みさを大豆収穫祭が開催されました。地域住民の方と町内外から16名の参加がありブリコやトーミを使った脱穀作業などの収穫体験などが催されました。収穫体験後は、みさを大豆の湯豆腐などが振舞われたり、みさを大豆のきな粉や水煮などのバザーも行なわれ皆さん楽しい収穫祭を過ごされました。

生活サポートセンター活動紹介

地域住民お互いが気軽に支え合える有償の活動として生活サポートセンター（会員制）を平成30年度よりスタートしております。

現在、ゴミ出しや食料品の買い物などの依頼を受け協力会員さん方にお手伝い頂いております。



買い物聴き取り



ゴミ出し

地域福祉権利擁護事業

「生活支援員」研修会 開催

現在、5名の方が生活支援員として活動されており、日常的な金銭管理等に不安のある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いをされています。参加者からは、「相手の気持ちに寄り添うことが大切だと思う」「今後の担い手の養成が必要」といった思いや貴重なご意見をいただく事ができ、今後の課題も見えた研修会となりました。



掲 示 板

令和元年度実績
【令和2年1月末現在】

募金種類	件数	金額
戸別	4,277	1,945,400
法人	19	158,000
学校	5	24,449
職域	10	114,127
イベント	1	3,557
個人	2	632
その他	16	287,722
合計	4,330	2,533,887



潤徳小学校から募金贈呈

10月1日～12月31日まで山都町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金運動を展開しました。住民の皆様は心温かいご協力に心からお礼を申し上げます。

次号で実績を紹介いたします。

ご協力頂きまして本当にありがとうございます。

赤い羽根共同募金

愛の1円玉募金贈呈式

12月16日、愛の1円玉募金贈呈式が行われました。

取り組まれて来たこの募金活動も20数年目を迎え、山都町老人クラブ連合会蘇陽支部長安永支部長より274,339円の目録が手渡されました。



車椅子用スロープ寄贈

合志市の伊藤宏美様より、熊本県地域支え合いセンター支援事務所を通して、車椅子用スロープを寄贈して頂きました。



建物への入退出時の介助など必要な方へ貸し出しを行い大切に使用して頂きます。ありがとうございました。

社協一般会費のお礼

本年度も山都町の全世帯を対象に8月から一般会費の協力をお願いいたしました。

社協会費は住民の皆様が住み慣れた地域で安心して過ごせるように「住民主体」の原則のもと、地域福祉諸活動に役立てていきます。

次号で実績の報告をさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。



山都町地域福祉計画・地域福祉活動計画に係るパブリックコメントについて

令和2年4月からの地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を予定しており、皆様からのご意見を募集します。

○意見受付締切日 2月28日(金)まで
○資料の閲覧場所 山都町社協本部・各支部
山都町役場本庁・各支所
町・社協のホームページ

○意見提出場所 情報閲覧場所に直接持参
FAX0967-82-3357 E-mail yss9.1-sw211@bz01.plala.or.jp
詳しくは町広報2月号ホームページをご覧ください。

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および社協会費、寄付金の一部で作成しています。